

## オリンピック大会についての意見調査

日比野 朔 郎

### A Report of Survey to the Opinion on the Olympic Games

SAKURO HIBINO

オリンピックモスクワ大会開催1カ月前と開催1カ月後とに、大学生492名に対して質問紙直接回答法によって、オリンピックに関する意見調査を実施した。

その結果、日本スポーツの現代化の遅れを反映して、お祭り気分を期待している。一方アマチュアスポーツ祭典として、きびしく純粹さを求め、将来、存在のためには改革が必要と痛感しながらも改革案には冷い反応を示していた。現状維持の傾向が強かった。

#### ま え が き

人類の文化の中で、平和と親善との尊い価値をもってきたオリンピック運動は、その国、その人のスポーツに対する考え方を背景にしてささえられながら第22回大会を迎えた。その歴史の流れの中には、政治や人種、そして幾多の思想問題が起った。今回モスクワで開催された22回オリンピック大会は、米国のカーター大統領のボイコット提唱で大いに揺れ動いた。

参加国は81。そのうち10カ国は開会式に不参加。いつものような国旗を翻して行進した国、65カ国。国旗を五輪旗に変えた国13カ国、国内オリンピック委員会の旗を掲げた3カ国、アフガニスタンが国旗を先頭に満場の歓呼をうけたが、オリンピックという底抜けの明るさはモスクワ大会開会式にはなかった。それはアフガニスタン問題で真二つにわかれた世界、オリンピックを舞台とする米ソ冷戦、その中で、昭和55年7月19日午後4時（日本時間同日午後10時）にレーニン中央競技場で約6,700の選手がドミトリー・ショスタコビッチ作曲のテーマ音楽にのって入場開幕した。

ソ連はモスクワ大会に約8,000億円を投入し開催をした。キラニン会長は開会式で開催国への感謝を述べ、オリンピックの主権者はI・O・Cであることを強調、I・O・Cは国旗、国歌の廃止で政治を越えよ

うとする。また昭和55年7月18日開かれた第83次国際オリンピック委員会総会でキラニン会長の後継者にサマランチ氏を選び、問題討議は昭和56年9月、西独バーテンバーデンにて開かれる会議にゆずっている。その間、日本は1988年にオリンピック大会を名古屋へ誘致する運動を起している。日本N・O・Cまでが会長に背を向け、米大統領に従った。肝心なのは各国のスポーツ界の姿勢であろう。

このような間にあつて、各国の現代スポーツのあり方が問われるわけであるが、それぞれの国のスポーツ構造や特色をもって、各人が、またオリンピックとの心理的距離によって異なるモスクワ大会に関して意見をもっているであろう。とりわけ日本の場合、大学生がスポーツの担い手として重要な役割をもっているの、モスクワ大会開催（昭和55年7月19日から8月3日まで）1カ月前と開催後1カ月との意見を調査、その変化を把握、一般市民の開催前の意見調査結果とを比較検討して、大学生の意見特色を知り、オリンピック大会に関する動向を追究することとする。

#### 調 査 方 法

一般市民の意見調査

昭和55年4月～5月、国会議員、経済界、学識者、過去の五輪選手、日本体協、地方体協、J・O・Cと

五輪関係競技団体から各70名を抽出、質問紙郵送法にて実施した。回答者は282名で67.1%の回収率であった。五輪代表17.7%、日本体協・地方体協18.4%、J・O・C競技団体19.2%、学識者16.3%、財界人12.1%、国会議員16.3%の分野別回収率をえた。

#### 大学生の意見調査

昭和55年5月中旬と9月上旬、F大学保健体育科目履修学生492名。(但し短期大学の一学科は除く)

質問紙直接回答法。質問紙は比較検討のために同一設問項目で実施した。

#### 調査結果とその考察

表に示すように男女別、運動部所属者・非所属者別1・2回生別、学部別に集計、その百分率を算出した。

##### A. 大学生と一般市民との意見調査結果

###### 1. 五輪への関心について(問1, 2, 3)

オリンピック大会を見た経験、五輪への関心と五輪の意義との設問から、一般市民は、いずれの間にも97%、大学生の関心や意義は80%で女子よりも男子が関心は低い、これ程の高率からみて日本人はオリンピック大会をお祭り気分で行うとめているようである。

###### 2. 五輪と政治について(問4, 5)

五輪憲章は政治の干渉を排除すべきとしているがとの設問に対して、市民は干渉すべきでないが40%に対して、大学生は54%と14%も高く、女子では59%である。独立は不可能と仕方がないと42%、大学生35%で、政治からの独立は根本理念であるが現実の問題としては困難とみていると思われる。現在スポーツは文化の枠組の中で考えねばならないことをも物語っている。大学生の方が建前として政治干渉排除する意見が強いと考えてよい。

ボイコットについて、米国が他に強制すべきではないが大学生に15%も多く、米国は国益からしてボイコットも当然とする者が一般市民に22%大学生より多い。また同情は市民に高かった。

###### 3. モスクワ五輪開催について(問6)

米国同情の一般市民はボイコットが増えているのに対して大学生は好感をもった開催賛成が16%となっている。

###### 4. 日本の不参加について(問7, 8)

日本の不参加については、当然とするものが、一般市民より大学生が25%も低い。政府が見解を出すことに大学生は市民よりも18%も多く反対している。

J・O・Cは問題が問題であるだけに判断の困難さで大半がやむえないという意見であった。

###### 5. 恒久開催について(問9, 10)

複数都市での開催については、大学生は意見がわかれているが、政治紛争をさけるためにギリシヤが開催を提案していることに対して、各国持ち回りを賛成する大学生は44%、一般市民も66%といずれも多い。恒久開催の支持はえられなかった。

###### 6. 巨大化について(問11, 12, 13)

参加者が多数であることを望む者はともに多く59~52%である。それだけ一般市民も大学生もともにお祭り気分を期待している。参加数も必然的に多くまた国との対立を昂揚しがちになるチーム・ゲームをやめる必要なしとする者はともに74~72%で、競技種目も現状のままが大半を占め、大学生ではもっと参加者を増加とする者が10%も高く、男子学生では28%にもなっていて現状維持しようとする意向が覗かれる。

###### 7. 国旗、国歌について(問14, 15, 16, 17, 18, 19)

ナショナリズムの競争心をあおるとされる国旗、国歌の存続を望む者は62%で、大学生では10%低い、メダル数の報道には関心が高く、またユニホームは必要とする者と自由にすると二分化されている。また、国の代表でなく個人参加については、一般市民は57%が現状のままであるが、大学生は40%が個人の意志にまかせると高い率である。

さらに出場について国の援助は当然と75~62%の者が期待している。またI・O・C委員構成は各国一名か現状のままよいとする一般市民に対して大学生は40%レベルで分かれている。

これらI・O・Cが憲章改正の考えをもってしても日本では余り受入れられず深刻な問題としてみていないようである。

###### 8. アマチュア主義について(問20, 21, 22, 23, 24)

現在の選手をアマチュアと認めている者は62~53%で、その裏がえしでプロと一緒に競技することに反対は72~65%。さらにアマチュアだけの大会か、それと現状でという者は80~72%と、オリンピック大会はアマチュア・スポーツ祭典であって、そうありたいとの願いは一般市民に強いが大学生にもかなり強い。

商業主義については、一切排除がいずれも高かったさらに人間の力のみで競技を競うとするものは81%と77%との高率であって、日本のスポーツ界はきびしく純粋さが要求されているようである。

###### 9. オリンピックの将来(問25)

オリンピックが存続するためには改革が必要と両者ともに7割近くの者が痛感している。改革の必要と感じながらも実際にはその改革方向については否定的な返答であった。政治とのかかわりさえなければ現状維持が大多数でやはり保守的であるといえよう。

表1 オリンピック大会の意見 (%)

対象	項目	人数	1.五輪観戦			2.五輪の関心			3.五輪開催は意義			4.政治の干渉				5.ボイコットについて									
			あ	な	無	あ	な	無	あ	な	無	すべきでない	仕方がない	独立不可能	援助のため	政治介入	わからない	無	不愉快	米は当然	他に強制	すべきでない	わからない	無	
市民		282	97	2	1	97	1	1	96	2	1	40	8	34	16	1	1	16	36	44	2	2			
大 学 生		492	95	5		81	3	16	80	7	13	54	9	26	8	3		14	14	59	13				
		491	93	7		76	6	18	82	8	10	55	12	20	6	7		13	10	61	16				
	男	254	93	7		79	5	16	75	10	15	49	11	30	8	2		17	18	51	14				
	女	238	90	10		92	10	18	79	10	11	52	16	19	7	6		14	14	56	16				
	運動部所属	113	93	7		84	3	13	84	6	10	57	10	24	7	2		12	17	59	12				
	非所属	104	88	12		77	8	15	88	5	7	53	16	16	8	7		18	11	53	18				
男	1 回生	141	94	6		75	6	9	68	14	18	43	11	35	9	2		21	19	44	16				
	2 回生	134	92	8		69	11	20	72	14	14	51	16	21	7	5		11	16	59	14				
子	1 回生	121	94	6		79	6	15	74	12	14	50	14	30	5	1		16	14	53	17				
	2 回生	131	89	11		75	8	17	79	9	12	50	21	20	5	4		15	19	51	15				
子	農学部	133	92	8		78	4	18	76	9	15	49	8	30	11	2		18	22	50	10				
	文学・生活	107	93	7		69	12	19	79	11	10	53	10	18	10	9		13	18	63	16				
	農学部	170	91	9		78	3	19	76	9	15	49	14	28	8	1		18	21	49	12				
	文学・生活	149	89	11		68	10	22	76	9	15	51	18	19	5	7		15	12	56	17				
	運動部所属	84	98	2		81	7	12	74	12	14	49	6	33	10	2		14	13	55	18				
	非所属	89	93	7		79	9	12	84	12	4	53	13	19	10	5		13	17	58	12				
女	運動部所属	60	93	7		87	0	13	88	5	7	59	8	23	8	0	2		8	15	65	12			
	非所属	72	94	6		78	6	16	86	1	13	64	8	16	4	8		3	4	72	21				
	1 回生	178	97	2	1	81	3	16	83	3	14	59	8	21	7	5		12	9	67	11	1			
	2 回生	181	97	3		80	2	18	85	7	8	57	7	23	6	7		15	7	62	16				
子	1 回生	155	95	4	1	84	1	15	84	3	13	62	7	21	6	3	1		11	10	67	11	1		
	2 回生	165	96	4		75	4	21	85	7	8	58	8	23	5	6		13	7	60	20				
	農学部	83	98	2		80	4	16	83	6	11	51	10	23	10	6		11	12	65	12				
	文学・生活	88	98	2		88	2	10	85	2	13	61	7	17	6	9		9	6	74	11				
子	農学部	164	96	3	1	83	2	15	82	5	13	59	10	22	7	2		13	13	62	11	1			
	文学・生活	175	96	4		81	4	15	84	6	10	58	9	22	5	6		13	7	67	13				
	運動部所属	74	96	4		82	1	17	89	1	10	60	8	20	7	4	1		7	7	74	12			
	非所属	78	97	3		77	1	22	86	5	9	62	4	19	6	9		9	4	59	28				

上段はオリンピック大会開催前、下段はオリンピック大会開催後

表2 オリンピック大会の意見 (%)

対象	項目	人数	6.モスクワ開催				7.日本不参加				8.J.O.C不参加				9.複数都市の開催										
			好感をもつ	I決定に従う	物議の多い	わからない	当然	参加を要求	政府の見解	わからない	やむを得ない	参加すべき	表明させよ	わからない	負担軽減	交際のため	都市間の	わからない	無						
市民		282	7	50	40	2	1	43	15	36	4	2	56	22	18	2	2	33	55	8	4				
大 学 生		492	16	39	32	13		18	10	54	17	1	44	24	17	1		23	36	40	1				
		491	10	39	29	21	1	14	12	55	19		48	21	17	14		24	35	41					
	男	254	18	38	33	11		24	12	48	15	1	40	26	17	26	1	26	35	38	1				
	女	238	15	38	28	18	1	18	15	52	15		50	24	15	11		29	35	36					
	運動部所属	113	21	42	27	10		19	14	55	12		42	26	21	11		27	37	36					
	非所属	104	19	44	20	17		17	13	56	14		48	30	16	6		30	36	34					
男	1 回生	141	15	35	38	12		28	11	43	17	1	39	27	14	19	1	26	33	40	1				
	2 回生	134	11	34	34	19	1	18	16	50	16		52	20	14	14		28	34	38					
子	1 回生	121	18	36	34	12		24	12	50	12	2	40	21	20	17	2	25	40	34	1				
	2 回生	131	15	33	31	19	2	21	14	51	14		52	26	11	11		34	30	36					
子	農学部	133	17	40	32	11		24	12	47	17		40	31	15	14		26	31	42	1				
	文学・生活	107	14	44	24	18		13	16	54	17		49	22	19	10		22	41	37					
	農学部	170	18	39	32	11		21	10	52	16	1	37	29	17	16	1	29	37	33	1				
	文学・生活	149	13	38	29	19	1	19	14	51	16		51	23	15	11		24	38	38					
	運動部所属	84	18	36	33	13		30	17	40	12	1	47	21	18	14		19	31	49	1				
	非所属	89	18	37	26	29		15	15	55	15		49	27	15	9		36	30	34					
女	運動部所属	60	13	35	32	20		10	15	53	22		48	27	18	7		22	35	40	3				
	非所属	72	13	37	26	24		6	10	60	24		40	17	24	19		18	29	53					
	1 回生	178	13	42	32	13		14	4	62	18	2	49	20	16	15		18	39	42	1				
	2 回生	181	5	40	30	25		13	10	54	23		48	17	18	17		20	37	43					
子	1 回生	155	15	36	32	17		10	6	65	17	2	48	22	17	12	1	16	36	47	1				
	2 回生	165	9	36	27	28		10	10	56	24		46	18	17	19		16	35	49					
	農学部	83	11	47	31	11		18	8	49	23	1	51	19	14	16		24	42	31	3				
	文学・生活	88	2	47	33	18		12	9	56	23		45	15	25	15		27	34	39					
子	農学部	164	13	37	34	16		14	9	58	17	2	52	21	14	12	1	21	37	40	2				
	文学・生活	175	5	39	33	23		12	9	56	23		46	17	20	17		23	34	43					
	運動部所属	74	14	46	28	12		9	4	64	23		42	23	20	15		15	40	45					
	非所属	78	10	41	21	28		9	12	56	23		45	17	18	20		13	37	50					

表 3 オリンピック大会の意見 (%)

対 象	項 目 人 数	10. 恒 久 開 催					11. 巨 大 化				12. チームゲーム					13. 競 技 種 目						
		経 費 軽 減	持 ち 回 り 施 設 の 有 る 所	と ち ょ う 施 設 の 有 る 所	わ け づ け	無 記	参 加 者 の 少 少	参 加 者 の 多 少	わ け づ け	無 記	や め る 必 ず	や め る 必 ず	出 場 国 家	を へ ら ず	わ け づ け	無 記	競 技 種 目 減 少	種 目 減 少	現 状 の ま ま	も と と 増 加	実 施 種 目 替 換	を 入 れ 替 換
市 民	282	13	66	15	4	2	38	59	2	1	9	74	14	2	1	13	26	44	9	2	4	2
大 学 生	492 491	12	44	21	24	1	27	54	19		15	72	3	10		4	6	49	19	6	16	
男	254 238	13	44	19	22	2	29	52	19		18	72	4	6		4	5	43	28	8	12	
	238 253	12	39	23	26		26	55	19		11	72	3	14		4	7	54	10	5	20	
女	113 104	10	52	19	19		26	59	15		7	86	0	7		3	3	45	30	9	10	
	141 134	15	38	19	25	3	31	47	21	1	28	60	6	6		6	8	40	25	8	13	
子	121 131	11	45	21	22	1	25	55	19	1	17	75	1	7		4	3	49	25	6	13	
	133 107	14	44	18	23	1	32	50	18		20	68	6	6		4	7	38	30	11	10	
農 学 部	170 149	12	44	24	19	1	32	52	16		18	73	5	4		5	7	44	26	9	9	
	84 89	14	45	10	29	2	23	52	24	1	19	70	0	11		4	2	40	30	7	17	
文 学 ・ 生 活	178 181	12	36	24	28		27	53	20		12	72	1	15		4	5	58	9	3	21	
	155 165	12	38	23	26	1	25	55	20		11	71	2	15	1	5	6	54	11	4	20	
子	83 88	11	42	22	25		29	54	17		11	73	4	12		1	7	56	8	6	22	
	164 175	12	40	22	25	1	27	56	17		10	73	2	15		4	6	57	8	5	20	
短 期	74 78	11	30	26	27		23	54	23		12	71	4	12	1	4	8	50	14	4	20	
		5	36	21	38		5	73	22		8	72	0	20		1	8	74	3	0	14	

表 4 オリンピック大会の意見 (%)

対 象	項 目 人 数	14. メダル数報道					15. 開・閉会式・国旗・国歌					16. ユニホーム					17. 個人参加							
		関 心 有 り	不 必 要	毎 日 は 不 要	わ け づ け	無 記	式 を や め る	存 続	国 旗 歌 を ぬ ぐ	す べ て や め る	旗 を ぬ ぐ	歌 を ぬ ぐ	わ け づ け	無 記	必 要	不 必 要	自 由 に	わ け づ け	無 記	現 状 の ま ま	N O C 技 を	個 人 の 意 志 で	わ け づ け	無 記
市 民	282	46	22	29	1	2	11	62	13	7	1	1	4	1	47	12	39	1	1	57	29	9	3	2
大 学 生	492 491	41	16	37	6		2	53	23	6	1	3	12		35	12	46	7		18	27	40	14	1
男	254 238	51	16	25	8		3	56	21	6	0	2	11	1	35	14	46	5		19	22	46	12	1
	238 253	31	16	49	4		1	50	26	5	2	3	13		34	11	46	9		18	32	34	16	
女	113 104	54	13	27	5	1	2	65	19	1	0	3	10		41	9	46	4		17	22	47	13	1
	141 134	49	18	24	9		4	48	22	11	1	1	12	1	31	18	46	5		20	22	46	11	1
子	121 131	55	16	22	7		3	56	20	8	0	3	8	2	41	13	42	4		22	12	51	13	2
	133 107	62	22	37	11		3	74	29	7	1	1	18		41	20	65	7		21	41	56	15	
農 学 部	170 149	52	18	22	8		3	57	20	6	1	2	10	1	37	14	45	4		21	24	44	11	1
	84 89	47	13	32	6		2	55	23	6	0	1	12	1	33	14	47	6		16	19	50	14	1
文 学 ・ 生 活	178 181	33	15	50	2		1	51	23	6	2	3	13	1	34	11	48	7		19	31	37	13	
	155 165	34	18	44	4		1	50	21	6	2	5	15	1	35	9	46	10		21	28	34	17	
子	83 88	26	11	59	4		1	50	36	2	1	1	9		34	13	46	7		12	38	36	13	1
	164 175	26	17	53	4		1	50	30	1	2	2	13	1	35	11	46	8		16	32	35	16	1
短 期	74 78	42	14	40	4		1	47	16	14	1	7	14		34	8	47	11		21	32	32	15	
		59	1	32	8		0	71	15	0	1	4	9		36	2	53	9		26	27	28	19	

表5 オリンピック大会の意見 (%)

対象	項目 人数	18. 国の援助					19. I.O.C委員の構成					20. 現在選手はアマチュアか					21. プロも一緒に					
		期待するな	独自の費用で	援助が当然	わからない	無記	現状でよい	各国委員で	各国一人で大陸別等に	わからない	無記	アマと思う	アマ(魚)わぬ	大多数はアマ	少数はアマ	わからない	無記	賛成	反対	わからない	無記	
市民	282	12	11	75	1	1	22	18	37	13	9	1	17	16	45	17	3	2	22	72	5	1
大 学 生	492	13	11	62	13	1	19	27	10	4	39	1	24	29	29	8	10		21	65	14	
	491	10	10	63	17		32	19	7	6	36		26	26	23	13	12		22	59	19	
男	254	15	15	56	14		26	27	10	5	31	1	21	34	26	11	8		31	57	12	
	238	12	14	59	15		34	20	7	7	32		29	30	22	10	9		35	48	17	
女	238	11	8	67	13	1	12	28	8	4	47	1	27	23	33	5	12		11	73	16	
	253	9	6	65	20		30	18	7	5	40		22	23	24	16	15		11	68	21	
男	運 動 部 属	113	6	9	72	13	27	26	9	6	31		23	26	29	13	9		26	61	12	1
	104	7	10	67	16		35	16	7	7	36		35	27	18	12	8		32	49	19	
非 所 属	141	22	19	44	14	1	26	27	11	4	31	1	19	41	24	9	7		35	54	11	
	134	16	18	53	13		33	23	8	7	29		25	33	25	8	9		37	48	15	
1 回 生	121	11	14	51	14		27	30	7	8	27	1	27	33	21	11	8		31	59	9	1
	131	10	10	66	14		44	19	6	6	25		32	36	19	7	6		35	60	5	
2 回 生	133	19	15	53	12	1	26	24	13	2	35		15	35	32	11	7		30	56	14	
	107	14	20	51	15		23	21	9	8	39		26	23	25	13	12		35	35	30	
農 学 部	170	15	14	61	10		30	27	9	4	29	1	22	34	24	12	8		32	58	9	1
	149	11	18	52	19		33	18	7	5	37		31	34	14	9	12		36	48	16	
文 学 ・ 生 活	84	14	15	47	23	1	19	26	12	7	36		19	35	32	8	6		29	54	17	
	89	12	19	71	8		36	21	9	11	23		27	25	25	10	3		33	49	18	
女	運 動 部 属	60	7	12	68	13	8	38	5	5	42	2	28	17	35	5	13	2	12	71	17	
	72	4	8	61	27		24	18	7	3	48		25	30	21	12	12		11	68	21	
非 所 属	178	12	7	67	12	2	13	25	10	3	48	1	27	25	33	4	11		11	73	16	
	181	10	5	68	17		32	18	7	6	37		22	20	25	17	16		10	69	21	
1 回 生	155	10	7	69	12	2	12	28	3	6	49	2	28	26	29	4	13		11	75	14	
	165	4	5	7	21		28	14	8	4	45		25	23	19	16	17		10	69	21	
2 回 生	83	12	10	64	14		12	28	18	0	42		24	18	41	6	10	1	11	69	20	
	88	17	7	58	18		33	25	4	6	32		18	23	33	15	11		11	68	21	
文 学 ・ 生 活 ・ 農 学	164	13	7	65	14	1	13	26	10	4	46	1	26	18	38	5	12	1	10	73	17	
	175	12	7	62	19		33	23	4	6	34		19	24	27	17	13		10	68	22	
短 期	74	7	9	73	9	2	8	34	5	4	47	2	28	35	22	3	12		14	71	15	
	78	1	3	74	27		23	6	13	3	55		31	21	15	14	19		12	69	19	

表6 オリンピック大会の意見 (%)

対象	項目 人数	22. アマだけの大会に					23. 商業主義					24. 勝利のため薬品使用					25. オリンピックの将来				
		賛成	現状のまま	資格を緩和	わからない	無記	一切排除	かねばよい	強化のため	使用しない	わからない	無記	人競問の力で	平等な条件	利用してもいい	わからない	無記	今はのままで減	改革必要	存続する	わからない
市民	282	45	35	13	5	2	43	20	35	1	1	81	15	2	1	1	8	68	18	5	1
大 学 生	492	38	34	18	10		31	21	29	18	1	77	14	4	4	1	10	66	16	8	
	491	39	34	15	12		31	27	23	19		75	16	2	7		10	66	13	11	
男	254	35	29	24	12		34	19	29	17	1	80	10	5	4	1	11	60	19	9	1
	238	38	27	23	12		31	27	25	17		77	13	3	7		14	61	15	10	
女	238	41	39	11	9		27	24	28	20	1	74	19	2	4	1	8	72	12	8	
	253	40	40	7	13		31	27	20	22		73	19	1	7		6	71	11	12	
男	運 動 部 属	113	36	34	24	6	29	23	27	20	1	82	11	4	2	1	8	61	23	7	1
	104	37	28	20	15		31	25	24	20		80	9	4	7		10	63	17	10	
非 所 属	141	36	24	24	16		38	15	31	15	1	80	8	6	5	1	14	59	16	10	1
	134	40	26	25	9		31	29	26	14		74	16	3	7		18	58	13	11	
1 回 生	121	41	27	22	10		40	17	29	12	2	85	9	3	1	2	12	60	17	9	2
	131	43	24	26	7		38	24	22	16		80	12	3	5		20	56	14	10	
2 回 生	133	31	30	26	13		28	20	29	22	1	77	10	7	6		12	60	20	8	
	107	32	31	19	18		22	31	29	18		73	14	4	9		8	66	16	10	
農 学 部	170	37	34	22	7		32	20	31	16	1	84	8	4	3	1	10	60	21	8	1
	149	38	26	24	12		36	19	26	19		81	11	1	7		14	61	15	10	
文 学 ・ 生 活	84	33	18	27	22		38	16	25	19	2	74	13	7	5	1	13	61	14	11	1
	89	39	29	21	11		22	42	24	12		70	17	7	6		16	59	15	10	
女	運 動 部 属	60	50	35	10	5	23	27	35	15		72	23	2	3		3	80	14	3	
	72	44	35	10	11		35	28	23	14		76	15	2	7		3	72	10	15	
非 所 属	178	39	40	11	10		29	23	26	21	1	75	17	3	4	1	9	69	13	9	
	181	38	42	6	14		29	27	19	25		72	20	1	7		7	71	11	11	
1 回 生	155	41	42	10	7		24	26	29	20	1	72	21	3	3	1	7	74	12	7	
	165	41	38	6	15		33	30	20	17		69	22	2	7		5	70	11	14	
2 回 生	83	35	27	11	10		34	19	28	19		77	16	1	6		10	68	14	8	
	88	39	43	9	9		27	20	22	31		81	14	0	5		6	74	11	9	
文 学 ・ 生 活 ・ 農 学	164	44	34	12	10		32	23	25	19	1	76	15	3	5	1	9	72	12	7	
	175	42	39	7	12		31	22	21	26		82	14	1	3		6	72	13	9	
短 期	74	37	50	8	5		16	24	37	22	1	69	29	1	1		4	72	16	8	
	78	36	41	8	15		29	37	21	13		54	31	1	14		4	69	8	19	

## B. 大学生のオリンピック開催前と開催後との意見変化

### 1. 五輪の関心について

日本がモスクワ大会に不参加であったためか開催後五輪への関心は5%薄れていた。このことは男子にその傾向が強いが開催の意義は逆に認めて高くなっている。

### 2. 五輪と政治について

大きな変動はなかったが、政治の干渉は仕方ないと3%増加。また米国はボイコットを他に強制すべきでないは2%増加した。

### 3. モスクワ大会開催について

好感をもつが5%減少。女子にその傾向が強かった。開催後にわからないという者が8%も増加している。

### 4. 日本の不参加について

日本の不参加はモスクワ大会後当然と支持するものが男子6%も減少、J・O・Cが不参加を表明したのもやむえないと男子10%増している。また、わからないものも15%も増加している。

大会が開催され、日本は米国に追従するように不参加が現実問題となり、解決に複雑困難さを覗わしめているのではなからうか。

### 5. 恒久開催について

経費軽減に恒久開催を望む男子で6%増加している。同様複数都市での開催も負担軽減で男子3%増加している。

### 6. 巨大化について

参加者の増加を男子は7%、女子も4%増加、チーム・ゲームをやめる必要なしが減少しているが、競技種目では現状維持が12%増加している。

### 7. 国旗、国歌について

開催前と後とに大きな差異はないが、ユニホームを自由にすると少し増加が認められる。メダル数報道に関心が7%増した。

個人の意志での参加が減少して、現状のままという方が増した。出場について国の援助を期待する者が3%減少した。

I・O・Cの委員構成は現状のままではよいは13%増した。その傾向は女子に強い。

### 8. アマチュア主義について

開催前後に大きな変化は認められなかった。

### 9. オリンピックの将来について

将来も存続するに開催後3%減少、改革の必要は感じているといえる。

## C. 一般市民のグループ別意見傾向

政治干渉では、干渉すべきでないとするグループは議員、学識者が50%について、J・O・C、選手であった、財界人は50%、体協33%と第一位に政治からの独立が不可能であるとしている。

モスクワ大会開催に対しては、J・O・Cと選手は、I・O・Cが選んだ以上異存がないと大半が支持。その他は、議員、財界人、学識者、体協の各グループ順に物議をかもしている国での開催はできないとしている。

選手は都市での開催を賛成、選手交流を願望し、また財界人、議員は一都市での開催を大半が支持している。

巨大化については選手参加数が多くてもよいとする者が議員76%、財界人62%。J・O・Cは減少を大半が支持。国の援助は86%の選手が当然として考えている。

オリンピックの将来について選手52%、J・O・C 43%で存続してゆけるとの意見が第一位を示しているが、議員54%、財界人53%、学識者43%、体協40%で、すべてのグループが消滅すると危機感をもっている。

## D. 大学生のグループ別意見傾向

政治干渉では男子の運動部所属者が干渉すべきではないと57%、独立は不可能24%であるが、非所属者は干渉すべきでないが43%と14%も減少して、独立不可能が35%、運動部所属者に干渉排除が強い。いずれのグループも干渉排除が第1位で62~43%である。モスクワ大会開催については、男子運動部所属者は好感をもっていて、J・O・Cの認定に従うことで63%、非所属者は50%。物議がある国での開催はしないが非所属者で11%も高くなっている。

いずれのグループもI・O・Cの認定に従うが第一位で47~35%であった。

オリンピックの将来については、いずれのグループも80~59%で第一位に改革の必要をあげていて、危機感をもっていることがわかった。

調査の一般市民の構成がオリンピックに関連が深いという点があるかも知れないが、また大学生は心理的にオリンピックとの距離があるためか関心がやや低く、理念的に政治干渉を排除している。一方モスクワ大会開催には一般市民より10%賛成が多く、好意的である。

モスクワ大会開催後の意見に、わからないとする者が多くなって意見が分散しているが、I・O・Cの改

正方針については消極的で、お祭り気分で国旗を先頭に入場するオリンピックイメージが頭の中に入っているのではないだろうか。オリンピック、国体と日本人は一堂に多勢が集って競技をすることが好きである。英国などのように隣の地域との試合を積み重ねて大きな大会としている方法と全く逆の方向で、根本的に全体から個へ志向している日本と対照的である。

アマチュア主義にも、日本のスポーツはきびしく純粋さを求めている。現実政治問題との関連での解決は困難であるがそれを除けば、どのグループも80～60%と最高で改革の必要性を痛感している。しかし、いざ改革案に対しての反応は薄く、保守的で現状維持の方向をもっている。

このことはオリンピック大会開催年毎に大学生を対象としたオリンピック関心についての研究でも明らかになったことであるが同じくオリンピック大会の意見の背景には、強くその国のスポーツの考え方が作用していることがわかった。

日本のとくに大学生のオリンピックに関する意見は明らかに彼等の深層のスポーツ観に根ざしているのである。現代スポーツは政治や経済などの領域と関連していて、しかも、その国の文化と歴史とに属しながら存在している。日本は英国から建前としてのスポーツマンシップ・アマチュアリズムが入ってきたのではあるが、現実にはアメリカの影響が強く、本音はアメリカ的であると云うる。

タテ社会の人間関係に支配され、J・O・C決定がなされれば個人参加もできなかった。保守的で近代化も程遠いという現状である。一方、巨大化したオリンピックは大国でしか開催できなくなったが1988年に名古屋にと招致運動が起っている。最有力候補とみられたメルボルンが財政難から立候補を取り下げたので、

立候補のソウルと名古屋とで、9月下旬バデンバーデンで開かれる国際オリンピック委員会総会で決定されることとなっているが、住民は負担増という不安を懸念しながら45%の賛成と39%の反対とがあると聞いている。オリンピックの意見をふまえながら進歩的に政治的解決が望まれるところである。

#### ま と め

オリンピック・モスクワ大会開催1カ月前後に大学生に対して意見調査を実施した。一方、一般市民対象の結果とを比較検討した結果、一般市民と類似した大学生の意見をえた。オリンピックの政治干渉をすべきでないとする者54%で、ボイコット問題の間に開催されたモスクワ大会には、オリンピック理念から好感をもつ者16%、開催後5%減少した。オリンピックの将来については80～60%で大学生のどのグループも改革の必要性を痛感しながら改革案には冷たい反応をしている。

大会にお祭り気分を期待し、一方アマスポーツの祭典としてきびしくその純粋性を求めている現状維持が多い。これらの意見の根底には欧米に比べ近代化の遅れている日本の現代スポーツの現状が背景に根ざしているといえる。

(1981年7月13日受理)

#### 参 考 文 献

1. 朝日新聞社調査：オリンピックの意見アンケート，昭和55年5月20日
2. 朝日新聞社：オリンピック名古屋招致世論調査 昭和56年7月12日
3. 日比野 朔郎：大学生のオリンピック関心についての研究（未刊）